

# 施策評価(平成30年度)

## 1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策	17	基地対策
基本方針		
横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行います。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">特定防衛施設周辺対策事業の充実についての要請</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">横田基地に起因する諸問題についての国および米軍への要請</a>	計画どおり完了	A	A	B	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策17「基地対策」では、2事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価しているが、有効性(成果)については、「横田基地に起因する諸問題についての国および米軍への要請」において、羽村第三中学校へのパラシュート落下事故などが発生したことから、B(課題があり、今後、改善が必要なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行う」ことであり、「特定防衛施設周辺対策事業の充実についての要請」では、学校などの防音障害を緩和するための施設整備や老朽化している施設の整備や、有事の際に必要な消防車両や防災行政無線の更新、住民福祉の向上・健康促進のためのソフト事業に各種補助金・交付金を活用したほか、「横田基地に起因する諸問題についての国および米軍への要請」においては、東京都並びに周辺自治体と連携し、市民に対する適時適切な情報提供に努めており、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
---

1.基本項目		作成部署	企画総務部		企画政策課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 特定防衛施設周辺対策事業の充実についての要請		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	17	基地対策	管理No.	82

2.事業の概要

施策の基本方針	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行います。
事業内容	公共施設の整備などに関する交付金制度の拡充について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会や横田基地周辺市町基地対策連絡会などを通じた国への要請や、防衛補助の採択に向けた交渉に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	国へ防衛補助等の充実を要請 ・動物公園改修事業(平成28年度～30年度) ・第三分団消防ポンプ自動車更新事業(平成29年度) ・羽村第一中学校防音機能復旧事業(平成29年度～31年度)	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	110H	1人	110H	1人	110H	1人	110H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	288	171	171	171
人件費(係長職)	547	547	547	547
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	835	718	718	718
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	835	718	718	718
財源内訳(合計)	835	718	718	718

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

平成28年度からの継続事業である「動物公園改修事業」においては、予定どおり完了し、平成30年10月にリニューアルオープンをした。「羽村第一中学校防音復旧事業」についても予定どおり完了した。また、平成30年度事業として要望をしていた「防災行政無線デジタル化事業」について採択がされ、平成30年度には実施設計を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	171		171	90	52.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	110 H	1人	110 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
国への要請実施  【継続事業案件】 ○動物公園改修事業(28年度～30年度) ○羽村第一中学校防音復旧事業(29年度～31年度) 【30年度採択予定案件】 ○防災行政無線デジタル化事業(30年度～34年度)	国への要請実施  【継続事業案件】 ○動物公園改修事業(28年度～30年度) ○羽村第一中学校防音復旧事業(29年度～31年度) 【30年度採択案件】 ○防災行政無線デジタル化事業(30年度～34年度)

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 東京都及び基地周辺市町と連携しながら、取組みを実施している )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

航空機騒音対策として、学校などの防音障害を緩和するための施設整備や老朽化している施設の整備に関して各種補助金を活用し、これまでもさまざまな施設の整備を行ってきたところである。また、有事の際に必要な消防車両や防災行政無線の更新や住民福祉の向上・健康促進のためのソフト事業についても交付金を活用しており、安心・安全のまちづくりに寄与している事業と捉えている。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

公共施設の老朽化の整備・更新事業など、対象事業の補助メニューを最大限活用し、財源の確保を図っていくとともに、更なる交付金事業の拡充への取組みとして、東京都及び基地周辺市町とともに、引き続き連携しながら国に対して要請等を実施していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	横田基地に起因する諸問題についての国および米軍への要請	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	17	基地対策	管理No.	83

2.事業の概要

施策の基本方針	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行います。
事業内容	航空機騒音や事故など、横田基地に起因する諸問題について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会や横田基地周辺市町基地対策連絡会等を通じ、国および米軍に要請します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会などを通じた安全対策・騒音防止等を含めた横田基地の整理・縮小・返還要請の実施 5市1町幹事:羽村市	同左 5市1町幹事:福生市	同左 5市1町幹事:昭島市	同左 5市1町幹事:立川市

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	976 H	2人	576 H	2人	576 H	2人	576 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	62	63	63	63
人件費(係長職)	9,704	5,727	5,727	5,727
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	9,766	5,790	5,790	5,790
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	9,766	5,790	5,790	5,790
財源内訳(合計)	9,766	5,790	5,790	5,790

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

平成30年度上半期においては、CV-22オスプレイの横田基地配備への対応や、横田基地での訓練、MV-22オスプレイほか外来機の飛来などに対する要請など、東京都並びに近隣自治体と連携し、適時適切な対応に努めたが、羽村第三中学校へのパラシュート落下事故などの事案が発生した。  
平成30年度下半期は、国と米軍に対する総合要請を実施したほか、横田基地所属C-130輸送機の人員降下訓練及び物料投下訓練中のパラシュート落下への要請対応、正月三が日飛行自粛要請、横田基地で実施される訓練等への要請など、東京都並びに近隣自治体と連携した対応に努めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	63		63	52	82.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	576 H	2人	576 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○適時適切な要請の対応		○適時適切な要請の対応 49件

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 国の責任において実施されるべきものであり、粘り強く働きかけていく必要がある )	A
有(成果性) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

横田基地に起因する諸問題の解決に向けては、東京都並びに周辺自治体と連携した対応を行い、市民に対する適時適切な情報提供に努めることが重要であり、そうした観点から、意義のある取り組みであると捉えている。ただし、こうした対応は本来国が責任を持って対応すべきものであると捉えている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

市民に対する説明や情報提供など、国の責任において実施されるよう、周辺自治体と連携しながら、引き続き働きかけていく。

**【今後の取組方針】**

横田基地に起因する諸問題が発生しないことが第一であり、日ごろから国や米軍からの情報収集に努めるとともに、横田基地に起因する諸問題が発生することのないよう、安全対策の徹底と騒音の軽減に関する働きかけに努めていく。